

講演者への質問と回答

■荒井先生へ

【質問】 支援が大学から専攻の担当に移ったことについて、それは良くないことだと言っておられましたが、根拠がよく分かりませんでした。結局、専門の支援は専攻の人がやるのが良いとも言っておられましたが、どちらの方が良いとお考えでしょうか？

【回答】 当時、大学としての窓口が消失し「専攻での個人対応」に逆戻りするような状況にあり、該当学生の精神的負担も大きかったように見受けられました。例えば、講義内容が理解できる同じ専攻の学生にボランティアを依頼するなど「支援」に関して各部署と連携を図ることは大切だと思いますが、「大学」として相談窓口などの組織・体制を整備すべきと考えます。

■堂平先生へ

【質問】 発達障害者の就労支援について展望をお聞きかせ下さい。

【回答】 残念ですが現在のところ大変厳しい状況にあると思います。まずは本人に障害者手帳を取ってもらうことから始めないといけないのではと考えています。障害者手帳は「精神障害」という名称になるので「発達障害」とは異なるイメージになるので若干の抵抗はありますが、障害者手帳があれば障害者雇用枠での採用に可能性があるように思います。

■谷川先生へ

【質問】 厚生労働省・経済産業省との連携はどのような状況でしょうか？

【回答】 日本学生支援機構が、直接厚生労働省など他省庁と連携して行っている取組は、現時点ではありません。

文部科学省などの省庁が進めている施策については、内閣府が作成している「平成 19 年度障害者施策の概況」（障害者白書）中、「第 1 編 参考資料 平成 19 年度障害者施策関係予算の概要」を参照して頂ければと思います。これらの施策は、基本的に各省庁で進めているものでありますが、施策により各省庁間で連携して取り組んでいる施策もあるようです。

【質問】 内部疾患のため、定期的（月 2 回程度）に病院で注射を受けなければならない情報工学科の学生を現在抱えています。薬の副作用のためか、注射を受けた後 1 日程度体調が悪いようで、実験の履修が難しい状態です。内部疾患を抱える学生への具体的対応について何か良いアイデアはありませんでしょうか？

【回答】 日本学生支援機構の取組の 1 つに、「障害学生修学支援ネットワーク」による「相談事業」がございます。これは、大学・短期大学・高等専門学校に勤務する教職員に対し、本事業の拠点校が相談にお応えするものです（申し訳ありませんが、本機構がお答えしているものではありません）。現在、宮城教育大学、筑波大学、日本福祉大学、同志社大学、関西学院大学、広島大学、福岡教育大学の

7校が拠点校がとなってお協力頂いておりますが、どの大学に相談されても構いませんし、複数の大学に相談することも可能です。なお、これらの拠点校は、それぞれ相談に対応できる障害種が異なっており、病弱（内部疾患等）に対応できる大学は、宮城教育大学、筑波大学、同志社大学、広島大学、福岡教育大学の5校となっておりますので、本機構のホームページから、所定の「拠点校への相談申込票」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メール又は FAX で希望する拠点校へお申込頂ければと存じます。

☆障害学生修学支援ネットワーク - 相談事業 URL

http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/sodan.html

詳しくは、本機構のホームページをご覧頂ければと存じますが、この他にも、各大学等でお役に立てるよう用意した情報がございますので、ご活用頂ければ幸いです。

☆障害学生修学支援情報 URL

http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/index.html

■ご存じの先生へ

【質問】 授業中、赤色のチョークで重要な部分を強調すると、見えないと学生から言われたことがありました。色覚障害のある学生への支援に関して、何かヒントがあれば教えて頂ければと思います。

【回答1】 筑波技術大学の岡本です。色覚障害については、JIS X 8341 シリーズにウェブコンテンツの規格があります。その中には、色だけに頼って情報を提供してはいけないなど、チェックリストの具体例が載っております。それから本シンポジウムの企画元である電子情報通信学会の福祉情報研究会が中心になって作った「論文作成・発表アクセシビリティガイドライン」があります。そこに、電子プレゼンテーション作成時に望ましい色やフォント、文字の大きさについて記載されております。それらは授業のときにもおそらく参考になるものだと思っております、こういった大学での講義のマニュアルにも取り込んで頂きたいと思っております。

☆日本工業標準調査会 URL（ここから JIS 規格を検索できる）

<http://www.jisc.go.jp/>

☆福祉情報工学研究会 URL

<http://www.ieice.org/~wit/>

【回答2】 ソフトバンクモバイルの明石と申します。カラーユニバーサルデザイン機構という NPO 法人（略称 CUDO : クドー）があります。こちらの活動に、実際に色弱の研究者が参加されていて、色覚の多様性だとか、そのからくり、プレゼンテーションのバリアフリーに関しても、ホームページでかなり詳細に公開しておりますので、そのへんをご参考にされるとかなりよろしいかなと思います。板書のチョークの色に関しても、色弱の方でも識別しやすいチョークというのも実際出てるようです。あと、こういう学会の発表なんかでよく赤のレーザーポインタとか使われますけど、それは色弱の方で見えない方がいるそうなので、できれば赤ではなく緑のレーザーポインタを使うと非常に良いかなということです。

☆カラーユニバーサルデザイン機構 URL

<http://www.cudo.jp/index.html>